



第19回全日本民医連 歯科学術運動交流集会

いんく

実行委員会ニュース No.2

発行: 歯科学運交実行委員会

☆☆☆テーマ決定しました☆☆☆

誰のための医療か

～患者さんに寄り添うことで創られる民医連歯科の集団の技術～

皆さん、こんにちは。

遅れてしまいましたが、実行委員会ニュース第2号をお送りします。

実行委員会という限られた時間の中で、多数の県から集まった委員でテーマを決めるのは難しいですね。演題募集要項・ポスターの発注などの都合で、なんとか決定しましたが、委員会では引き続きテーマを深めていけたら・・・と思います。

第4回学運交実行委員会では、テーマのほか、記念講演の講師、ポスターデザイン、演題発表の持ち方などを討論しました。

今回の学運交は会場の都合で、一日目に関会式、記念講演、歯科部企画等、全体で集まる企画を全て行い、二日目に演題発表を行い、まとめが無いままに終わってしまう進行です。それをカバーすべく、従来の分科会方式だけでなく、メインテーマを扱った分散会を持つてはどうだろうか？という内容です。

また、ポスターセッションにも取り組めないだろうか？と議論しています。演題発表の持ち方は、次回も論議をし、深めていく予定です！

演題登録要項は

7月下旬に通達予定です！
もう少々お待ち下さい

委員長から委員に向けたテーマ提起からの抜粋

日頃、私たちの行っている仕事が民医連の方針に沿って行っているのか、レビューを行う良い機会と捉え自問自答出来る様にと“誰のための”と考えました。医療→技術に変えたのは医療と言うと焦点が幅広すぎて若干ぼやけてしまうので技術として自分とより真っ直ぐに向き合う事がテーマなのだと伝わると考えました。

このメインテーマをぶれる事無く行っていれば当然ですが、過去の積み重ねでそれぞれの院所で民主的集団医療が行われているものと思います。従いまして副題で委員の思いを患者さんに寄り添うことで創られる民医連歯科の集団の技術として表現しました。

中身としては前回の会議で話をした、寄り添う等のキーワードを入れて民医連歯科として、みんな一緒の方向を向いて前進して行きたい。そこに明るい未来があるのだとその為に今の到達と自分の仕事に価値があるのだと言うメッセージが伝わればと考えました。

それぞれの文化は異なると思いますが委員皆様の思いを乗せられるテーマをと考えています。

第19回 全日本民医連歯科学術
運動交流集会 in 東京

2011年2月19日(土)～
20日(日)
東京駅徒歩5分

ベルサール八重洲にて開催



東京と言えば・・・？

東京といってどんな風景・建物が頭に浮かぶでしょうか？ポスター作成にあたり、今話題の東京スカイツリータワーなども挙がりましたが、まだ建設途中で刻々と姿を変えることや、完成予想CGは知的所有権があり使用できません。

と言う事で、東京タワーをテーマに2種のポスターを作成して、委員会で多数決で決めました。

こちら、写真の東京タワーのポスター

に決定！！！！⇒

講師が決定次第、すぐ印刷して配布致します。

